

競泳

後藤

(佐野) 呉

100女子バタ子

大会新V

男子400リレー 白鷗足利3連覇

県高校総体

県高校総体水泳は3日、宇都宮市の日環アリーナ栃木で競泳などが行われ、男子1000リレー自由形の松下知之(宇都宮南)が50秒61、女子1000リレーバタフライの後藤結愛(佐野日大)が1分0秒



松下知之



後藤結愛

65をマークし、いずれも大会新記録で初優勝を飾った。男子400リレーで

も白鷗大足利が3分32秒31の大会新記録で3連覇

大型ルーキーの面目躍如だった。競泳女子1000リレーバタフライを1分0秒65の大会新記録で制した佐野日大1年の後藤結愛。佐野西中時代には

8割で力を温存し、終盤に力強いストロークでライバルを一気に突き放す。小学1年生で本格的に始めたという種目。レース前は「予選がなく、一発決勝な

る。「環境は変わらないう。それが良い」と活躍の要因を挙げる。唯一変わったことは「勉強」と言い、「成績で練習に影響が出ないようにはしないと」

競泳女子1000リレーバタフライ決勝 1分0秒65の大会新記録で優勝した佐野日大の後藤結愛。日環アリーナ栃木屋内水泳場

全国的舞台で活躍して

ヒロイン

大型新人 圧巻の泳ぎ 後藤

全国大会入賞を経験した実力者だが、「まさか自己ベスト(1分0秒18)まで更新するのは」と振り返る圧巻の泳ぎだった。

後半の伸びが光った。前半50リレーは7、

の心配だったと漏らした不安も経験値ではね返した。

多くの強豪校からの誘いを断り、佐野日大に進学。普段も幼少期から通い慣れた佐野市内のクラブで練習す

やめつつ気を見せた。昨秋の栃木国体は開催直前で新型コロナウイルスに感染し、出場を辞退。今年改めて国体出場を目指す1年となり、「その前にインターハイに出場し、

みせる」と1年生とは思えぬ大物感も漂わせている。大会2日目は500リレー自由形に出場。もちろん優勝を狙うと2冠獲得に自信を見せている。

(湯田大士)

覇。女子1000リレー背泳ぎは新井友惟(足利)が0秒49差の接戦を制し、頂点に立った。

競泳(白鷗アリーナ栃木) 【男子】▽1000リレー自由形 ①松下知之(宇南) 50秒61 大会新 ②安楽(宇都宮) ③川村(白鷗足利) ④山崎(宇東) ⑤山崎(白鷗足利) 4分6秒68 ⑥福田(同) ③山崎(宇東) ④山崎(白鷗足利) ⑤鹿嶋元希(白鷗足利) 背泳ぎ

58秒23 ⑥松浦(宇南) ③布施白鷗足利 ④阿部匠真(大田原) 55秒65 滝澤(白鷗足利) ③金子(宇都宮) ④金子(宇都宮) ①吉原啓太(作新) 1分5秒46 ②本郷(白鷗足利) ③飯田(作新) ④横倉詢(作新) 個人メドレー ①横倉詢(作新) 4分39秒59 ②石崎(白鷗足利) ③石井(作新) ④溝口、川村 ①白鷗足利(福田、溝口、川村) ②白鷗足利(福田、溝口、川村) ③黒須 3分32秒31 大会新 ④宇南 ⑤作新 ⑥作新 ⑦作新 ⑧作新 ⑨作新 ⑩作新 ⑪作新 ⑫作新 ⑬作新 ⑭作新 ⑮作新 ⑯作新 ⑰作新 ⑱作新 ⑲作新 ⑳作新 ㉑作新 ㉒作新 ㉓作新 ㉔作新 ㉕作新 ㉖作新 ㉗作新 ㉘作新 ㉙作新 ㉚作新 ㉛作新 ㉜作新 ㉝作新 ㉞作新 ㉟作新 ㊱作新 ㊲作新 ㊳作新 ㊴作新 ㊵作新 ㊶作新 ㊷作新 ㊸作新 ㊹作新 ㊺作新 ㊻作新 ㊼作新 ㊽作新 ㊾作新 ㊿作新

〇...3分32秒31の大会新記録で競泳男子400リレーを3連覇した白鷗大足利。第2泳者溝口新大は電光掲示板を見上げ、「達成感と安心感でいっぱい」と勝利の余韻に浸った。



第1泳者の福田奈史からアンカー黒須大幹まで一度も先頭を譲らず独走。福田は「それぞれがベストを尽くした結果」とレースを振り返った。午前中の400リレーメドレーリレーはライジングで失格だった。そのためプールサイドのメンバ

終始トップ譲らず